



この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
このチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

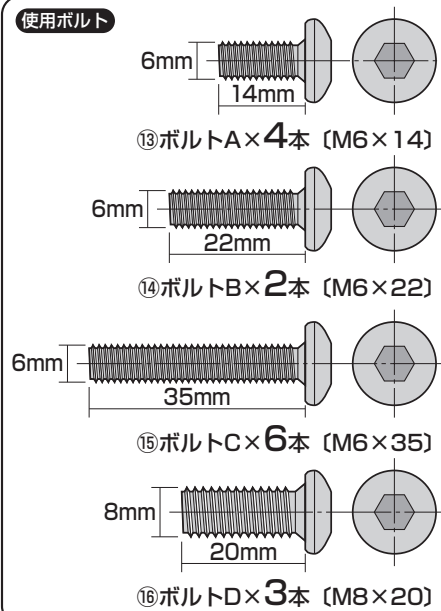
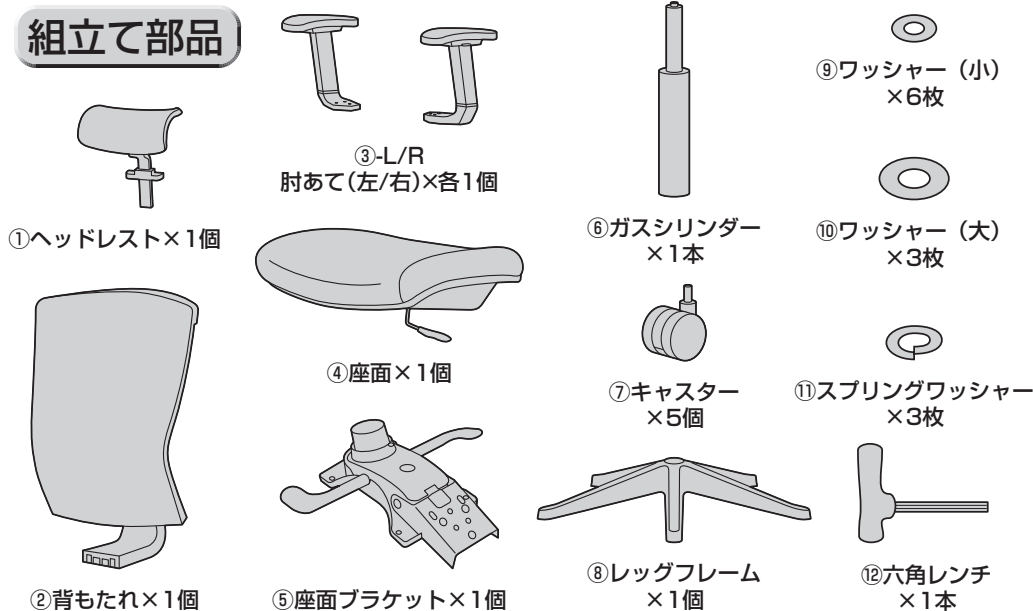
**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします）

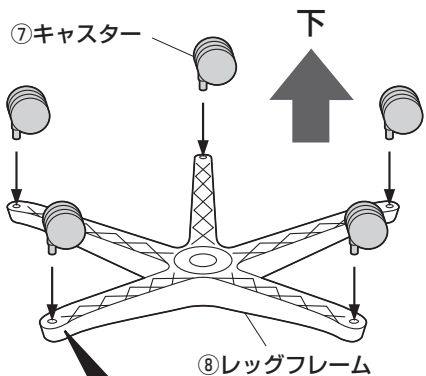


**組立て部品**



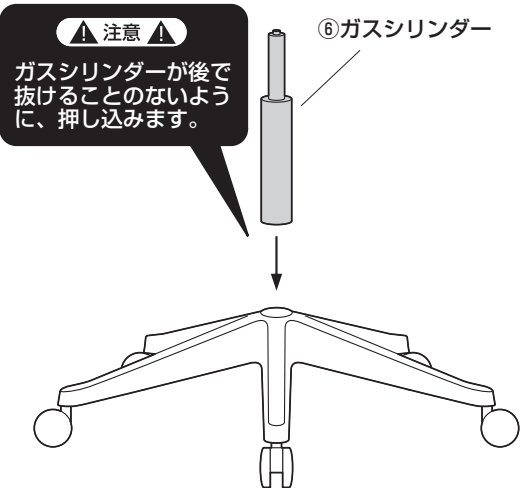
※部品の欠品や破損があった場合は、品番（150-SNCL025など）と上記の部品番号（①～⑯）と部品名（座面など）をお知らせください。

**1** レッグフレームをひっくり返し  
キャスターを取付けます。

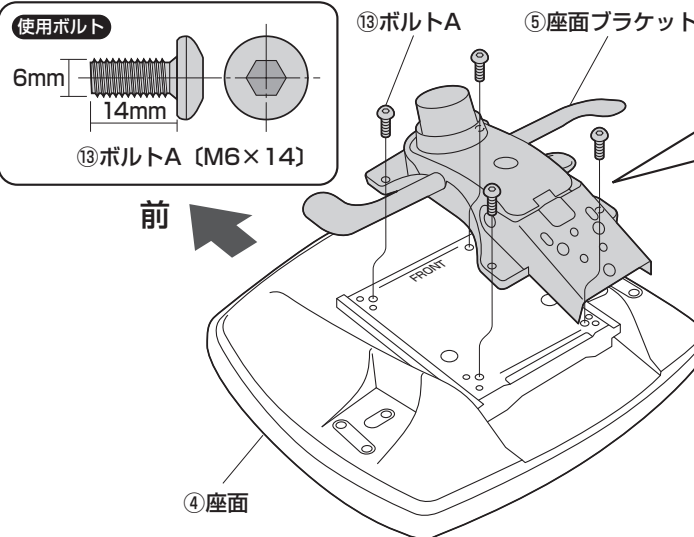


**▲注意▲**  
それぞれのキャスターは全て  
圧入です（手ではめこむ）。  
奥まできちんと差し込んでく  
ださい。

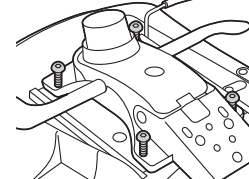
**2** ガスシリンダーをレッグフレームに  
取付けます。



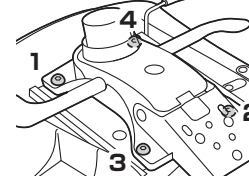
**3** 座面に座面ブラケットを取付けます。



①4本のボルトをゆるく取付けて、  
すべてのボルトを均等に少し  
ずつ締め込みます。

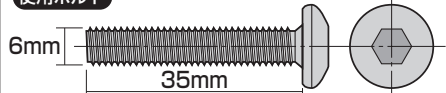


②最後に下図の1,2,3,4の順に  
きつく締めつけます。



#### 4 座面に肘あてを取付けます。

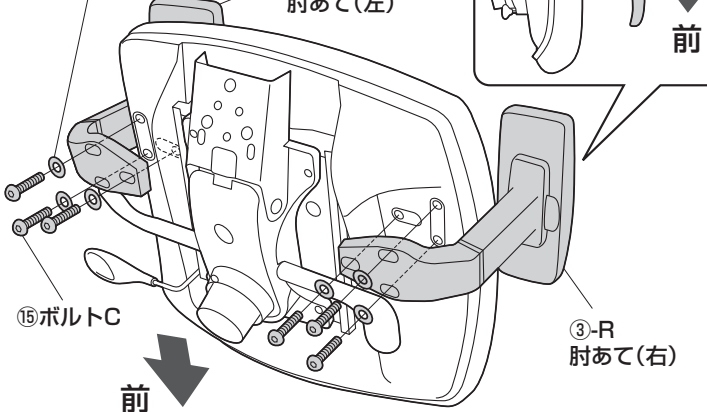
使用ボルト



15ボルトC (M6×35)

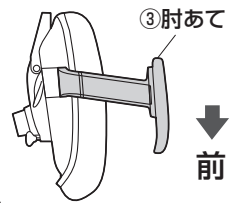
9ワッシャー (小)

3-L 肘あて(左)



横から見た図

肘あてを下図の向きに取付けます。

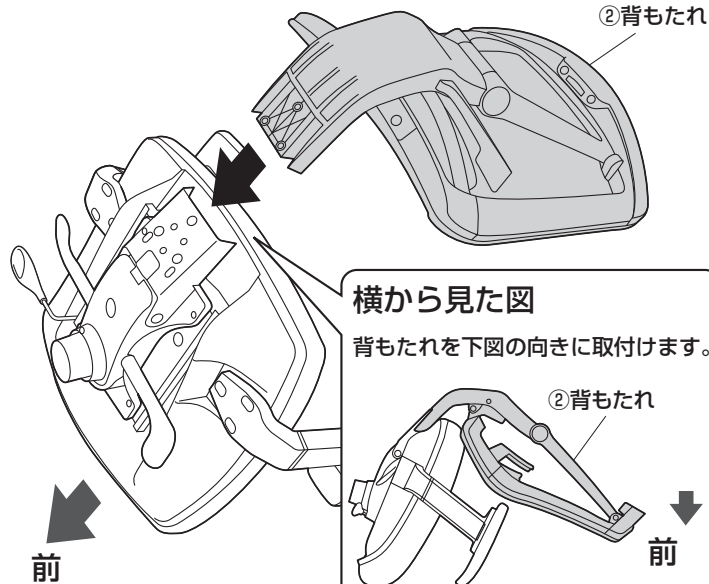


3肘あて

前

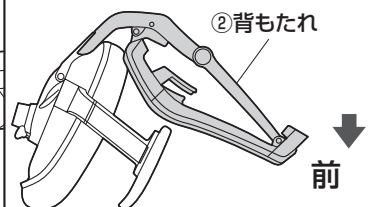
#### 5 座面に背もたれを取付けます。

1 背もたれを座面ブラケットに差し込みます。



横から見た図

背もたれを下図の向きに取付けます。

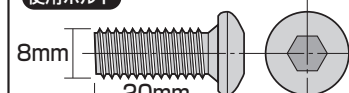


2背もたれ

前

2 ボルトDで固定します。

使用ボルト

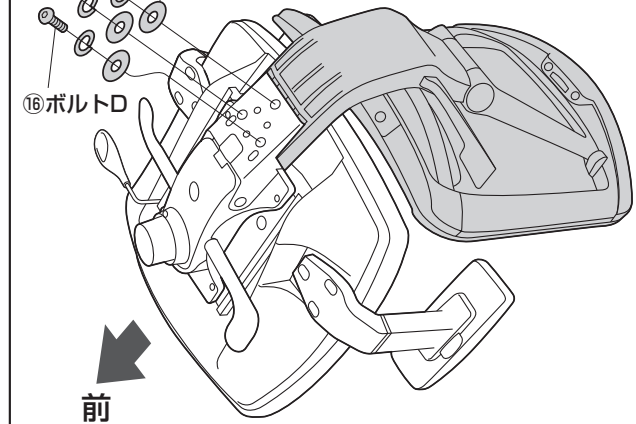


16ボルトD (M8×20)

11 スプリングワッシャー

10 ワッシャー (大)

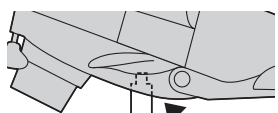
16ボルトD



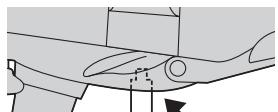
#### 6 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。

▲ 注意 ▲

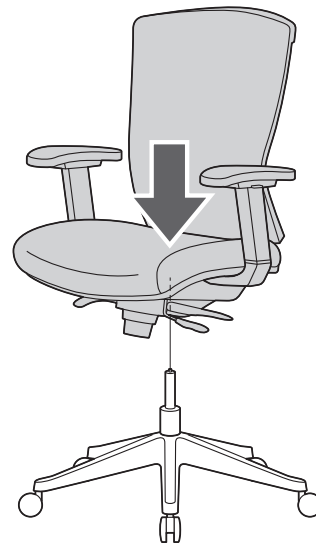
座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



斜めに差し込まれている



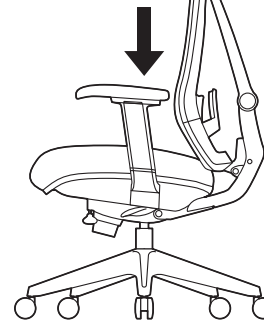
まっすぐ奥まで差し込まれている



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



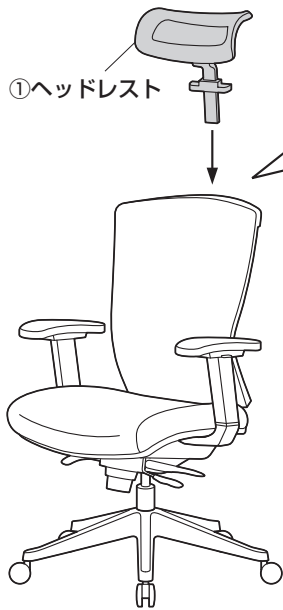
※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。

※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。

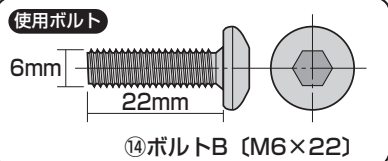
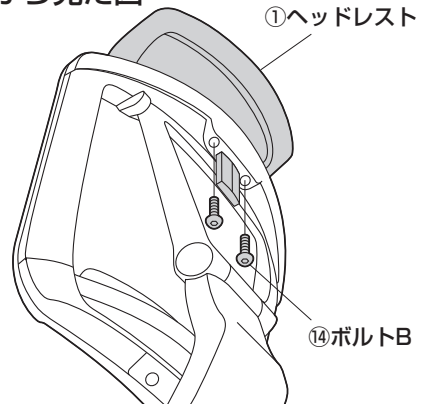
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

## 7 背もたれにヘッドレストを取付けて、完成です。



下から見た図



### チェアの品質表示

構造部材：背もたれ部・座部/木、スチール 肘あて部/ポリプロピレン  
 脚部・キャスター部/ナイロン  
 張り材：背座両端部/本草 背座中央部・背面/ポリエステルメッシュ  
 クッション材：ウレタンフォーム

### ▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面・肘あて部の上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

### 各部の調節方法



レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。  
 正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。

